

動物用医薬品

パンテチン製剤

イプコン[®]注20%

Ipcon[®] Injection 20%

イプコン注20%はパンテチンを20%含有する動物用注射剤です。

本物質は蛋白質・脂肪・炭水化物の代謝，アセチル化やグリシン抱合などの薬物解毒およびアセチルコリンやステロイドの生合成を司る補酵素(CoA)の前駆物質として重要な役割を果すことが知られています。

パンテチンの薬理作用は血清コレステロール低下作用，血清HDL-コレステロール増加作用，脂肪酸酸化促進作用のほか胃腸運動亢進作用等が認められており，ヒトの臨床においては脂質代謝異常改善剤，便秘，開腹手術後の腸管麻痺の改善剤として広く活用されております。

イプコン注20%は動物において，牛・豚の消化器病および牛の開腹手術後の消化器機能低下に対する治療剤として有用性が認められております。また主成分のパンテチンはCoA前駆物質であるため残留性に問題がなく，安全性が高く，開腹手術後の衰弱時および妊娠中の牛・豚にも投与が可能であり，臨床の場で使い易い注射剤です。

〔成分・分量〕

イプコン注20%は1 mL中にパンテチン200mgを含有する。

〔効能・効果〕

牛：前胃アトニー，食滯，後胃アトニー，開腹手術後の食欲不振及び胃腸運動低下。

妊娠時および授乳時の母豚：食滯・便秘等に伴う食欲不振

〔用法・用量〕

牛：1日1回体重1 kg当たり本剤として下記の量を1～3日間静脈内に注射する。

牛：0.025～0.05mL

妊娠時および授乳時の母豚：

通常，1日1回体重1 kg当たり本剤として下記の量を1～4日間筋肉内に注射する。

妊娠時および授乳時の母豚：0.025～0.05mL

〔使用上の注意〕

〈一般的注意〉

- (1) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (2) 本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- (3) 本剤は獣医師の適切な指導の下で使用すること。

〈使用者に対する注意〉

誤って人に注射した場合は、直ちに医師の診察を受けること。

〈対象動物に対する注意〉

1 制限事項

牛：腸管結石症および胃腸管捻転の疑いのある動物には投与しないこと。

2 適用上の注意

牛：静脈内注射をすること。

妊娠時および授乳時の母豚：筋肉内注射すること。（同一部位は避けること。）

〈取扱い上の注意〉

(1) 使用時には、ゴム栓を70%アルコールで消毒すること。

(2) 本剤を分割使用する場合は、速やかに使用すること。

(3) 他の薬剤との混合は避けること。

(4) 使用済みの空容器等は適切に処分すること。

〈保管上の注意〉

(1) 小児の手の届かないところに保管すること。

(2) 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。

(3) 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。

貯 法：室温保存

有効期限：使用の期限は容器および外装に記載

〔包

イブコン注20%（1mL中200mg含有）

装〕

50mL×10（バイアル入り）

販売元



Meiji Seika ファルマ株式会社

東京都中央区京橋 2 - 4 - 16

製造販売元



フジタ製薬株式会社

東京都品川区上大崎2丁目13番2号